

平成30年度第3回大津町地域公共交通会議 議事概要

平成31年1月21日(月) 13時30分～
オークスプラザ2階 ふれあいホール

1. 開 会

2. 会長挨拶

【柿本会長より挨拶】

3. 議 事

(1) 産交バス「内牧環状線」の廃止に係る乗合タクシー対象地域拡大について

【事務局より説明】

(説明の要点)

- ・ 内牧環状線廃止に伴い交通空白地域となる6地区(吹田区、大林区、錦野区、瀬田区、外牧区、内牧区)に乗合タクシーを導入。
- ・ 今回の6地区導入に併せて、予約専用番号も北部と南部に分けて受け付ける。北部と南部それぞれ別のタクシー事業者にて運行。
- ・ 利用料金については、吹田区・大林区・錦野区が300円、瀬田区・外牧区が400円、内牧区が500円で設定。
- ・ 新規導入する6地区の利用者見込みとして年間 3,000 人～4,500 人程度を見込み、それに伴う町の財政負担としては 300 万円～400 万円程度を見込む。

【委員からの質疑・意見】

委員からの質疑・意見なし。事務局案について承認。

(2) 産交バス「内牧環状線」の廃止に係るスクールタクシーの導入について

【事務局より説明】

(説明の要点)

- ・ 旧菊阿中校区内に居住し大津中に通学する生徒に対し、内牧環状線のバス定期券の補助を行っているが、内牧環状線が廃止となるため代替案としてスクールタクシーを導入する。
- ・ スクールタクシーは登校時1便、下校時1便の運行。
- ・ 利用希望者にあわせて乗降ポイントとルートを設定。
- ・ 登校時は予約必要なしとし、毎日の運行とする。
- ・ 登校時は大津中に8:00までに到着するよう各乗降ポイントの出発時間を設定。
- ・ 下校時は、利用者(生徒)が学校を通して利用予約をすることとし、予約があった場合のみの運行とする。
- ・ 下校時は、17:30分に大津中正門前を出発。

- ・ 利用者が乗車可能数を上回る場合は、普通車タクシーを追加で運行予定。
- ・ スクールタクシーの利用料金についてはタクシー料金による実績払いとし、町教育委員会が負担する。
- ・ 乗合タクシーとスクールタクシーの運行については町内事業者3者の輪番制とする。

【委員からの質疑・意見】

委員より

- ・ 今回の乗合タクシーとスクールタクシーの導入により、どの程度町の負担軽減となるのか。

事務局より

- ・ 内牧環状線の町負担分が1,100万円程度であるのに対し、乗合タクシーの新規6地区への導入による費用見込みが300万円～400万円、またスクールタクシー導入による費用見込みが200万円程度であるため、500万円から600万円程度の負担軽減を見込んでおります。

委員より

- ・ スクールタクシーにおいて、現在のルート図案の中では大林バス停と瀬田駅前のちょうど真ん中に生徒の家があるが、生徒が乗降場所に間に合わなかった場合はどうするのか。途中で乗降できるのか。

事務局より

- ・ 原則として乗降ポイントのみでの乗り降りとし、ルート途中での乗り降りは行わない予定です。利用者希望者と協議のうえ、ルート途中に乗降ポイントを設けるなどして間に合うように調整を行います。

委員より

- ・ 各乗降ポイントにおいては、利用者がいなければすぐに出発するのか、あるいは出発時刻まで待って出発するのか。どちらにしても利用する生徒に十分周知しなければならない。

事務局より

- ・ 各乗降ポイントでは、出発時刻まで待機し、定刻になってから出発する予定です。

委員より

- ・ アンケートの利用希望者は11人とあるが、登校時にジャンボタクシー乗降数の9人以上が乗降ポイントに待っていた場合はどうするのか。

事務局より

- ・ ジャンボタクシー1台に乗れない場合は追加のタクシーを呼ぶ予定です。また、運行の最初の方は状況が不透明なため、運行状況を見ながら必要に

応じて対応を検討します。また、新学期が始まる前に再度制度を説明して利用希望を確認する予定ですが、事務局としては9名以下（ジャンボタクシー1台）の希望者になると見込んでいます。

委員より

- ・ 今後のスクールタクシーの運行の見直しについては学校教育課が行っていくのか。

事務局より

- ・ スクールバスと同じなので、基本的には学校教育課が行いますが、総合政策課も協力しながら調整します。

委員より

- ・ スクールタクシーについて時刻等の見直しが出た場合、公共交通会議の場で議論されるのか。

事務局より

- ・ 熊本運輸支局への届出が必要な事項でないため、会議にて議論する予定はありません。後の調整については教育委員会が利用者と協議のうえ設定していきます。

その他委員より意見なし。導入について承認。

(3) 阿蘇くまもと空港へのアクセス関係について

【事務局より説明】

- ・ 空港アクセスの改善については、熊本県が昨年12月に三里木駅からのJR延伸を検討することで表明された。
- ・ 町にもこの件についての問い合わせが増えている状況。
- ・ 特に肥後大津駅の便数が減るのではないかと、この意見も多数寄せられている。
- ・ 町として、1月24日（木）に町民向けの説明会を実施する。

【委員からの質疑・意見】

委員より

- ・ 蒲島知事には、菊陽も大津も同じ熊本県の内として考えていただきたい。菊陽町からの分岐となれば、肥後大津駅からの便数が減る可能性があり、その場合は大津町から阿蘇方面にかけて廃れてしまう。
- ・ 大津町には3つの県立高校もあるので、通学者の面も考慮していただきたい。

委員より

- ・ 南阿蘇鉄道の件もあるので、県には南阿蘇鉄道との関係性も整理しながらやって欲しい。

(4) その他

【事務局より今後のスケジュールについて説明】

4. 閉 会